

2019年度 JICA 研修員の学校訪問 募集要項 (全5回)

1. 目的

- 1) 学校現場における「国際理解教育」を支援するため、JICA 中国センターが所管する中国5県の児童・生徒に対し、開発途上国から来ている JICA 研修員と直接交流する機会を提供し、開発途上国や異文化に対する興味・関心を引き出す。
- 2) JICA 研修員が児童・生徒との交流を通じて、日本の学校教育や文化、日本人のコミュニケーションの特徴等についての理解を深め、研修内容の効果的な習得を支援する。

2. JICA 研修員とは

JICA の実施する技術協力の一環として、開発途上国政府からの要請に基づき、日本で専門的な技術を学ぶために来日している開発途上国の行政官や研究者です。アジア・アフリカ・中南米・オセアニア等のさまざまな地域や国が含まれます。全国で年間約1万人の研修員が来日し、そのうち JICA 中国では年間約 100 か国から約 500 名以上の研修員を受け入れています。

3. 実施日

区分	年月日		研修コース名	対象国	研修員数	応募締切日
第1回	19年	11月13日(水)の 半日(午前中)	学校ベースの 学習の質改善と 教育行政の支援	ガーナ、マラウイ、ルワンダ、ウガンダ、 ザンビア、南アフリカの6か国(予定)	12名 (予定)	9/10 (火)
第2回		11月18日(月)の 全日	学びの改善のため の教育政策策定 及び分析能力開発	ラオス、ミャンマー、ネパール、PNG、モ ンゴル、アフガニスタン、エジプト、マラ ウイ、エスティワニ、南スーダン、カンボ ジア、エチオピアの12か国(予定)	16名 (予定)	9/10 (火)
第3回	20年	1月30日(木)の 半日	乳幼児ケアと就学前 教育(アジア)	カンボジア、ネパール、モルディブ、モン ゴル、スリランカの5か国(予定)	8名 (予定)	9/30 (月)
第4回		※調整中 2月12日(水)の 半日(午後)	中米統合機構加盟国 向け ビジネスを通じた 女性のエンパワメント	エルサルバドル、コスタリカ、ドミニカ共 和国、ニカラグア、パナマの5か国(予 定) スペイン語圏	8名 (予定)	9/30 (月)
第5回		2月17日(月) の全日 ※ 半日を授業視察、 半日を交流とする。	アフリカ地域 教師教育 (基礎教育分野)	ガボン、ギニア、コートジボワール、ジブ チ、セネガル、チャド、ニジェール、ブル キナファソ、ベナン、マダガスカル、マ リ、モーリタニア、中央アフリカの13か 国(予定) フランス語圏	14名 (予定)	9/30 (月)

※第4回については、日程が前後一週間程度、ずれる可能性があります。

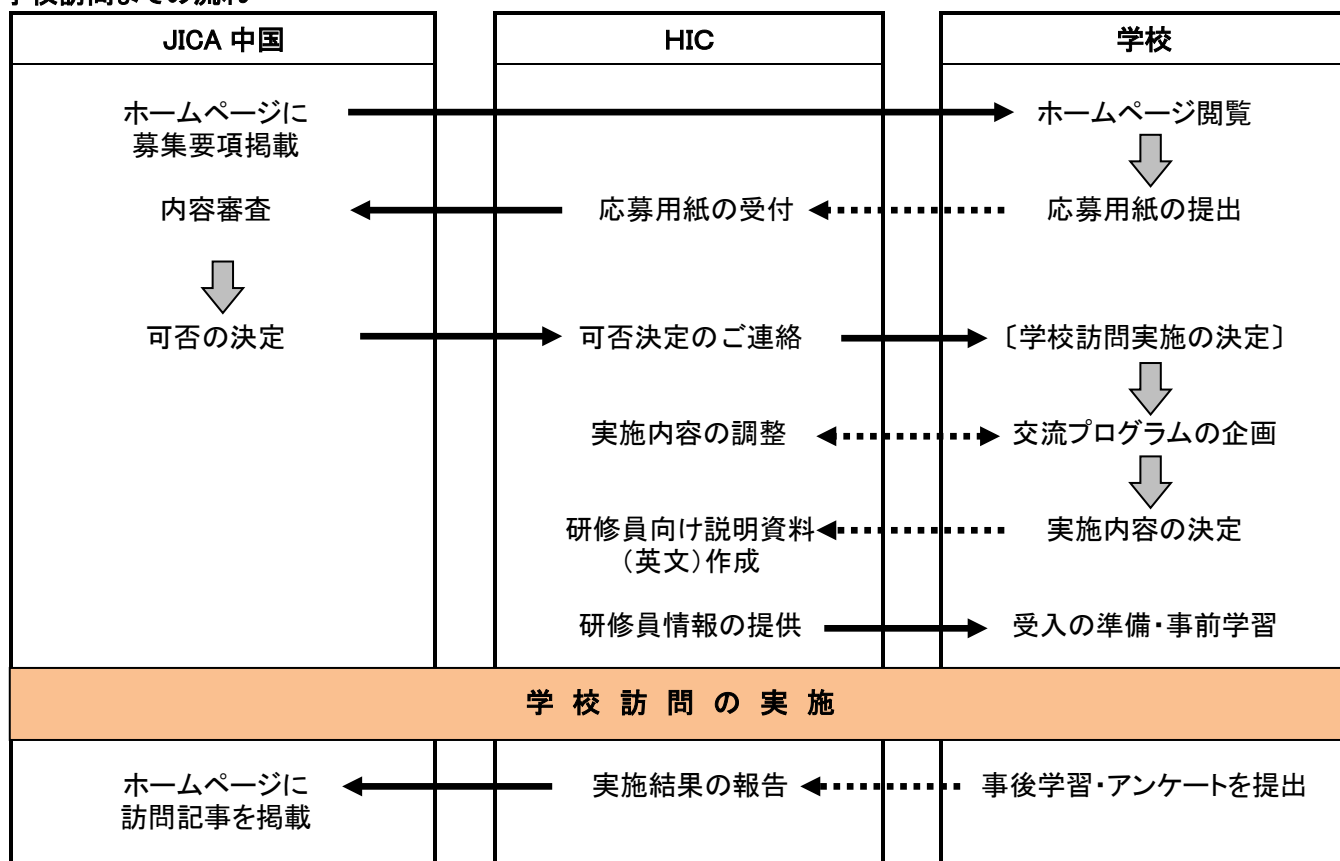
4. 内容について

- 1) JICA 研修員は、グループ単位(上記研修員数)で学校を訪問します。
- 2) 本コースの JICA 研修員は、基本的な英会話能力を持ち合わせていることを前提としていますが、英語が母国語ではない旨ご了承ください。
特に第 4 回はスペイン語で研修を、第 5 回はフランス語で研修を行うコースの研修員となります。
- 3) 実施担当は、本プログラムの業務委託先である、(公財)ひろしま国際センター(以下、HIC)研修部です。
- 4) 訪問当日は、HIC の職員1名が引率・同行しますが、同行者は、研修員の引率や緊急時のサポートを目的としています。学校側のプログラム(歓迎のあいさつ等を含む)の**通訳は行いません**。通訳が必要だと感じられる場合は、学校にて手配して頂くようお願いします。
- 5) 交流プログラムは、受け入れる学校が主体的に企画し、HIC と調整しながら組み立ててください。
児童・生徒が異文化理解や開発途上国へ関心を持つきっかけとなるよう、事前・事後学習を含めた総合的なプログラムの中に位置づけてください。
- 6) プログラムが児童・生徒による事前学習の成果発表にならないよう、ご注意ください。
研修員の母国語のあいさつや歌・遊びなどを学ぶ等、児童・生徒が理解できるような形で双方が体験を通じて自然に理解し合えるようなプログラム構成をお願いします。別紙、交流プログラムの例もご参考にしてください。

5. 学校訪問が可能な条件

- 1) 中国地方 5 県にある小・中・高校・高等専門学校・特別支援学校です。
- 2) JICA 中国(東広島市)から訪問先の往復移動時間を含め、9:30 から 17:30 までの間(半日の場合は、9:30～12:30/12:30～17:30、給食交流を含む場合は応相談)で実施できる交流プログラムに限ります。
- 3) JICA 中国から学校までの移動時間は原則片道2時間程度(高速道路使用)を上限とし、それを超える場合はお断りすることがありますのでご了承下さい。

6. 学校訪問までの流れ



7. 応募方法

別紙「JICA 中国研修員の学校訪問 応募用紙」に必要事項をご記入いただき、下記お申し込み先まで、E-Mail または FAX にてご応募ください。

8. 応募しめきり

第1回・第2回 9月10日(火)まで

第3～5回 9月30日(月)まで

※選考結果は第1回・第2回分:9月中旬、第3回～5回分:10月中旬を目安にご連絡の予定です。

9. 選考方法

- 1) 同一回に複数のご応募があった場合には、応募頂いたプログラムの内容にて訪問校を決定します。プログラム内容が類似している場合は、原則としてこれまでに本プログラムを実施したことのない学校を優先します。
- 2) プログラム内容審査の結果、本プログラムの目的に合致しないと判断された場合、お断りさせていただきます。
- 3) 止むを得ない理由によりプログラム実施が中止となることがあります。

10. 経費について

- 1) 研修員及び同行者の交通費をご負担いただく必要はありません。謝金等も不要です。
- 2) 交流プログラム内容によって必要となる経費(給食代、茶菓代、文房具、通訳備上費など)は、原則学校負担となります。

お申し込み&お問合せ先

(公財)ひろしま国際センター研修部 担当:河原(かわはら)
〒739-0046 東広島市鏡山 3-3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL:082-421-5900 FAX:082-421-5751
E-MAIL: hicc@hiroshima-ic.or.jp
※この事業は JICA 中国の委託により当財団が実施しています。